

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成25年度 (2013年度)		授業科目	工業材料学	
科目基礎情報							
科目番号	0074			科目区分	専門 / コース必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	商船学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	宮川大海、吉葉正行 共著 「よくわかる材料学」 (森北出版)						
担当教員	小田 真輝						
到達目標							
1.金属及び合金の結晶構造を理解し、説明できる。 2.金属及び合金の状態変化及び状態図の見方を理解できる。 3.金属材料の試験方法を理解し、説明できる。 4.金属材料の機械的性質と温度について理解し、説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	金属材料の結晶構造や機械的性質を説明でき、機械材料に求められる性質を説明できる。			金属材料の結晶構造や機械的性質を説明できる。		金属材料の結晶構造や機械的性質を理解できない。	
評価項目2	金属及び合金の状態変化及び状態図の見方を理解でき、相と温度について説明できる。			金属及び合金の状態変化及び状態図の見方を理解できる。		金属及び合金の状態変化及び状態図の見方を理解できない。	
評価項目3	金属材料の試験方法を説明でき、機械材料と関連付けできる。			金属材料の試験方法を理解し、説明できる。		金属材料の試験方法を理解し、説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	数ある材料の中でも工業的に重要な金属材料について、基礎的な知識を身につける。						
授業の進め方・方法	・基本的に講義形式で行う。 ・必要に応じて一人またはグループで課題に取り組む。						
注意点	・授業には教科書を必ず持参すること。 ・初めて学ぶ内容であるから、板書内容のみならず、必ず講義内容のメモを取り整理しておくこと。 ・適宜レポート課題を課す。課題は期限までに必ず提出すること。						
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	ガイダンス			金属材料とはどのようなものであるかを理解する。	
		2週	金属の結晶構造			結晶粒及び結晶格子について理解する。	
		3週	金属の状態変化			金属の状態変化を理解する。	
		4週	合金の状態変化			合金の状態変化を理解する。	
		5週	合金の結晶構造			合金の結晶構造を理解する。	
		6週	合金の平衡状態図 (1)			共晶型平衡状態図を理解し、説明できる。	
		7週	合金の平衡状態図 (2)			共晶型平衡状態図を理解し、説明できる。	
	4thQ	8週	中間試験				
		9週	試験返却・解答				
		10週	金属材料の機械的性質			機械的性質にどのようなものがあるかを理解する。	
		11週	材料試験法 (1)			引張試験について理解し、説明できる。	
		12週	材料試験法 (2)			硬さ試験、衝撃試験について理解し、説明できる。	
		13週	金属材料の疲れと疲れ強さ			疲れ試験について理解し、説明できる。	
		14週	金属材料の機械的性質と温度			低温ぜい性及びクリープについて理解し、説明できる。	
		15週	期末試験				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	10	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	0	0	10	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0